

広報 な か わ だ 2021年 6月



第489号

中和田カトリック教会 広報委員会

泉区中田北1丁目9-1 Tel (045)803-6141

2021年6月6日

<https://nakawada-catholic.com>

「聖心の月に当たって」

フランシスコ・ザベリオ 日野 武満 神父

新型コロナ・ウイルス感染が世界を揺るがしています。

先日、信者さんからチョコレート頂きました。BACI (単数 BACIO)、イタリア語で接吻の意味で、アメリカではキッスというチョコレートで知られています。

三年ほど前に信者さん達とアッシジの聖フランシスコの街を巡る前に隣り街のペルージアを訪れました。フランシスコが囚われて牢にいた街です。この街にバーチのチョコレートの本店があります。

この言葉とコロナ・ウイルスと関係が深い出来事で、以前にバチカンで教皇フランシスコの一般謁見で信徒が指輪への接吻を避けられたことが報じられました。

カトリック教会では第二バチカン公会議前後まで、司教の指輪に接吻するしきたりがありました。また、ヨーロッパでは挨拶の時、握手、抱擁、両頬へのキスが習慣ですが、コロナ・ウイルスの感染を避けるため問題になっています。日本は頭をさげて、時には手をあわせて挨拶しますので安心です。聖心の月に当たって一日も早く感染症の苦しみから解放されることを祈りましょう。

教会ごよみ(6・7月)

	日	曜	典 礼 (ミ サ)	備 考	そ の 他
6 月	6	日	祭日ミサ(9:00)	キリストの聖体	<u>第3地区</u>
	12	土			教会委員会(10:00) 入門講座(14:00)
	13	日	主日ミサ(9:00)	年間第11主日	<u>第1地区</u>
	20	日	主日ミサ(9:00)	年間第12主日	<u>第2地区</u>
	26	土			入門講座(14:00)
	27	日	主日ミサ(9:00)	年間第13主日	<u>第3地区</u>
7 月	4	日	主日ミサ(9:00)	年間第14主日	<u>第1地区</u>
	10	土			教会委員会(10:00) 入門講座(14:00)
	11	日	主日ミサ(9:00)	年間第15主日	<u>第2地区</u>
	18	日	主日ミサ(9:00)	年間第16主日	<u>第3地区</u>
	24	土			入門講座(14:00)
	25	日	主日ミサ(9:00)	年間第17主日	<u>第1地区</u>

※初金、週日ミサ、主日以外の祝祭日ミサは記載の日を除き7月末まで行いません。

建物再建の状況について

建設委員長 岩淵 英介

建物再建につきましては、日頃より皆様から多大なる御支援を賜りまして心よりお礼申し上げます。

皆様御承知の通り、昨年 10 月 22 日に工事業者選定に関する教区の御承認を頂くとともに、階段の付け替えを実施すること、これに関する追加費用は教区で負担して下さるとの御指示を頂きました。5 月末頃の着工を目指し、必要となる各種処理を進めて参りましたが、現在建築確認申請関連処理の最終段階になり、役所の判断を待つ状況となっております。しかしこのまま待つのでは更に時間もかかるので、5 月末より少し遅れますが、まず屋根の葺き替え、外壁の塗装、外構関係等、建築確認申請とは無関係な部分から早期に着工し、各種手続きと並行して工事を加速していく方向で進めることと致します。工事を加速していきたいと思っておりますので、これからもどうぞ宜しく御協力のほどお願い申し上げます。

少し細かい話となりますが、役所への申請などの手続きの状況は以下の通りです。

聖堂棟については検査済証もあり直ちに建築確認申請をだせる状況と考えておりましたが、司祭館の竣工時に検査済証が取られていなかったため、敷地一体として躯体強度検査及びガイドライン調査を受けることになりました。躯体調査に関しては 3 月に調査報告書が出され、鉄骨や基礎のコンクリートなど、聖堂棟、司祭館ともに良好な状態にあることを確認致しました。

ガイドライン調査とはリフォームを行う建物に検査済証がない場合、建築基準法令違反等重要な問題が無いことを調査確認し、ある場合は事前に是正処置を完了した上で建築確認申請を行う手続きです。4 月に調査が実施された結果、聖堂棟と屋外関係で 13 項目の指摘を受けております。多くは物置の撤去など対応容易なものです。いくつか問題がありました。階段の踊り場の幅が不足すること、台所に難燃壁が使われていないこと、司祭館との渡り階段が無申請構築物であることの三点です。前二点は今回の工事で解体し作り直す部分であり、わざわざ不要となるものを改修した上でまた壊して作り直すのは意味がないため、本工事の中で是正を施すことですむよう関係機関と交渉し、現在役所の判断待ちですが、一刻も早く先に進められるよう御願いをしております。

中和田 NEXT の会中間報告

中和田 NEXT の会は、せっかく建物を新しくするので、積極的に建物を活用し、様々な活動を行ってより多くの人に教会に来て頂き、中和田教会を発展させていきたいという願いから自然発生的に始まった検討会です。これまで 5 回の会合を持ち、熱心な議論を続けてきました。

アンケート調査に種々御意見を頂いた皆様、会合に御参加頂き、討議、御提言下さいました皆様にはこの場をお借りして御礼申し上げます。

提案された項目は下記の 3 つに分類して検討されました。また項目ごとに実行担当者を決めました。(聖堂入り口に報告書を置きますので御覧下さい。)

- ① 教会内外の交流 (8 項目) — 中和田教会内外の方を含めてより多くの人に教会に来て頂く
- ② サークル活動 (4 項目) — もっと親しくなる
- ③ 勉強・宣教 (8 項目) — 信仰を深める、新しい仲間を増やして行く

今後は下記のように進めることと致しました。

- ・検討会は一旦休会し、その間各担当者が活動開始に向けて準備を進めておく。
- ・建物完成の二ヶ月前に検討会を再開し、実施に向けた具体的な検討を行う。
- ・活動開始時期は項目によって異なり、既に実施中の項目もあるが、新規項目については建物の完成後できるだけ早い時期に開始する。
- ・「今後の検討課題」となっている項目は今すぐの実施は難しいが、今後も長い目で検討を継続していく。

これからも是非皆様のアイデアを御提案ください。また各項目の開始に当たりましては、多くの皆様の御参加をお待ちしております。どうぞ宜しくお願い申し上げます。

(幹事 岩淵英介)



<サークル紹介>

「短歌の会」について

最近、あるテレビ番組で俳句の競詠が放映され、大変人気があるようです。指導する先生の指摘がおもしろく、勉強になることが多くありますので時間が許せばよく観ています。近頃の俳句、短歌に寄せる人々の関心がいかに高いかは新聞やラジオ、テレビへの投稿の様子を見ているとよくわかります。

若い頃、私は短歌や俳句は老人のすることとっておりましたが、現在短歌界の第一線で活躍されている方々は皆、学生のころから習得されてきています。現在でも小、中学生から大学生、社会人に至るまで若者短歌が脈々と息づいていて短歌の世界も層が厚いようです。

むかし人々は喜怒哀楽を表現するとき身体を使い（踊り）、音を出し（音楽）、声をあげて（唄→詩）きました。詩（長歌）の結びの反歌が和歌（5・7・5・7・7）となり、和歌の発句（5・7・5）が俳句となりました。短歌と言われるようになったのは明治時代、正岡子規によってからです。上流社会のものであった和歌が現在のように一般庶民にまで広まったのは短歌になってからだとは思っています。

私が短歌を始めたのは50代後半の事でした。中学生の時に国語で習った和歌や百人一首のカルタ遊びで自然と覚えていた五・七・五・七・七のリズムを思い出して言葉を当てはめてみました。すると、すばらしい(?)短歌ができたのでした。

嬉しいこと、悲しいこと、愛しいこと、恥ずかしいこと、腹立たしいこと、何でも5・7・5・7・7に表してみました。そうすると、表現することは自己を見つめる事に繋がり、自己から解放されることでもあるということに気がつきました。正確な自然の営みの中に私はいつも創造された方の存在を感じております。

教会の方々に短歌を希望されている方が何人かいらっしゃいました。その方々のお力添えをいただいて、「短歌の会」を立ち上げることに致しました。実際の活動は教会の再建が完成してからになりますが、月に1度集会を持ち、各々の作品を観賞、批評をしあい、お互いの作歌の向上を計り、親交を深めていきたいと考えています。また、「開かれた教会」ということで、外部の方にも声をかけたいと考えています。

短歌のきまりごとは、五・七・五・七・七と言葉をつなげることだけです。

一人でも多くの方に興味を持って頂ければ幸いに思います。

(磯田昭代)

ウエディングマーチ	うす暗き 聖堂に百合の香り満ち	天を仰ぎて	風吹けば 散るばかりなる 花の下	流れ少なき	天を仰ぎ 大鷲じつと 動かざり	磯田昭代
習うオルガン		マリア像立つ		川の浅瀬に		

福祉 G からのお知らせ

四旬節の献金のご協力、ありがとうございました。

合計 73,530円

カリタス・ジャパンに送りました。

委員会だより (文中敬称略)

<5月教会委員会> (5月8日(土) 12名出席)

1. 日野神父様のお話

- ・コロナの感染者がまた増えています。緊急事態宣言が5月末まで延長されました。横浜も多くなっています。1年以上地区別制限ミサの状態が続いています。

2. 教会建物再建:状況報告(岩淵建設委員長)

- ・4月14日にビューローベリタスによるガイドライン調査(司祭館及び聖堂棟)が実施され、その調査報告書が出された。ガイドライン調査により、指摘された問題点を是正処置しておかないと建築確認申請が出せない。聖堂棟に不適合項目と既存不適合項目がいくつか確認されたが、建築士の石原さんが建築確認申請に向けて是正処置の扱いを検討中。是正処置には物置やカーポートの撤去等もある。
- ・建築確認申請の役所による判断により工事着工時期が左右されるので、今後の交渉が重要である。

3. 新型コロナ対応(小野委員長 今井副委員長)

1. 近隣教会・自治体の動向概要(資料参照)

- ・4月25日の宣教司牧委員会では資料の通りであるが、5月の各教会の委員会で再検討する予定。

→中和田教会は諸事情を鑑みて、今迄通り6月末迄は地区別の主日ミサを継続することに決定した。

4. 第5地区宣教司牧委員会報告(今井副委員長)

- ・戸塚教会から、中和田教会の再建工事の期間に聖堂が使用不可の場合は戸塚教会を使ってくださいとの申し出があった。
- ・「湘南キリスト教セミナー委員会」は一旦解散する。小教区毎の課題を見つめて取り組むことにする。
- ・(井上)2か月に1回のズームでの会議をやってきたが、今後の進め方が見えてこないという事なので終止符を打つことになった。再開する場合は別のやり方でやろうという事になった。

5. 財務(小野(和) 小野委員長) (資料参照)

(1) 4月度会計報告

- ・4月度の一般会計、建設会計、愛の献金の会計報告が行われた。
- ・建築確認調査時と階段工事の費用は教区本部よ

り頂く援助金を充当する。

(2) 建物再建支払い計画 (資料参照)

- ・(小野委員長) 教区からの融資(長期借入金) 返済計画は資料の通りである。融資金額は4200万円、20年返済(据置1年)で実行される。融資金額は2021年6月と8月の2回に分けて全額が融資実行される。

6. 中和田 NEXT の会:状況報告(岩淵)

- ・今迄5回程皆様の熱心な討議がなされたが、項目の抽出、内容と担当の決定を行った。ここでいったん中断し担当の決まっているものは各自検討を進めておき、建物工事完成の2か月前に会合を再開して詳細検討を行う。実施中のものもあるが、課題の大きいものについては長い目で見ていきたい。

7. 事務所の受付システムについて(開始後の状況)

- ・3月~5月にカレンダーを用意して実施しているが、限られた人になっているので、多くの人に月1回でもよいので気軽にやってみてほしい。
- ・これから人数も増えていくと思う。
- ・外来者が来たので、広報誌をわたしたら喜んでおられた。受付に人がいるとホッとする。
- ・広報誌を見て入門したくなったという人もいる。看板、掲示板、ホームページ、電話など色々な方法で外来者とのつながりを持つことが出来ると思う。

8. その他

- ・今年の庭の草取りをどうするか
- 前庭の草は工事の時に実施されると思うのでそのままにし、裏庭だけ検討していく。

<次回委員会 6月12日(土)> 以上

教会からのお知らせ

■帰天

ペトロ 横塚 勤様

(享年 80)

5月8日に帰天されました。

謹んで哀悼の意を表します。

(総務グループ)